

☆ これまでのパークヒルズ防災訓練の様子 ☆

◇平成16年度防災訓練

2004 年 12 月 18 日に実施された、パークヒルズ内で行われた防災訓練でのポイントです。

1. ハシゴを使って避難

1. ハシゴを使って避難する。(I 棟にて実施)

(エレベータや階段で避難出来ない場合)



訓練開始です！皆さん、上を見てください！！

高層棟の各階の両端のお宅には、避難用のハシゴが設置されています。

ハシゴを降ろした後、下の安全確認をしてから降りて下さい。

(ハシゴはグラグラするので下で支えてもらう必要があります。)



隣家への避難はパーテーションを破り隣家に移動して下さい。

パーテーションは結構堅いので、足で蹴って破る場合、十分気を付けて下さい。

(今回実際、パーテーションを破って判った事です)



* 避難通路確保のためパーテーション横には物を置かない様、協力をお願い致します。

2. 救護活動

2. 救護活動



物干し竿と毛布による簡易タンカーの作り方。

負傷者の搬送方法の紹介(二人で運ぶ時は、
後の人が声をかける)



3. 消火体験及び煙体験

3. 消火体験及び煙体験



消火器を使用する時は、大きな声で”火事だ”と叫び、周囲に知らせながら 火元に近づき消火器の安全ピンを抜いてノズルを向けて消火活動をする。



参加、ご苦労様でした！
災害は忘れた頃にやってくる…日ごろの心がけが大切です。

◇平成17年度防災訓練

2005年10月15日(土)に、パークヒルズ内で防災訓練が開催されました。今回は起震車を体験しました。

・2005年防災訓練の様子

起震車によって・・・
震度7を体験しました



一柳理事長のご挨拶



石川理事の訓練説明



パークに起震車がきました



地震体験1 まだ余裕です



地震体験2 子どもは楽しそう？



地震体験3 恐怖の震度7

◇平成18年度防災訓練

2006年10月29日(日)11:20-12:20、管理センター集会室で防災訓練が開催されました。今回も「煙訓練」など貴重な体験をしました。

・藤田理事長、坂元防災担当理事のコメントと写真です

2006年パークヒルズ防災訓練

【藤田理事長挨拶】

今日は日曜日お休みにもかかわらず防災訓練にご参加いただきありがとうございます。また日頃は管理組合活動にご協力いただいております。管理組合では防災担当理事が中心になって万一の災害に備えて色々と企画、準備をしています。

マンションで心配なのは主に火災と地震と思います、今回の防災訓練もその一環であります。1年に1回の訓練ですが是非この機会に防災について、皆さんにお考えいただきたいと思います。

また万一の災害時には管理センターや管理組合理事会では出来ることにも限界があります。万一の時は住民の皆さんのご協力が必要です。そのためには日常からのコミュニケーションが大切と思います。よろしくお願いいたします。



(訓練后感想)

「煙訓練」は意外に？楽しく、役にたちました。煙は全く前が見えないし、方向感覚がなくなり、危険ですね。あれで目と喉をやられてしまうんでしょうね。年1回でもこういった訓練を続けていくことが大切だと思います。来年も良い企画をしていただきたいと思います。

【防災担当理事坂元さんコメント】

本日の防災訓練は無事終了しました。

(1)60名弱の参加があり、なかなかの盛況でした。

保存用水の配布が功を奏したようです。次回も防災用品を配布するとよいと思います。

(2)東戸塚消防出張所所長の高橋さんのお話は、小学校の下校時間に合わせ防犯巡回の実施など、日頃の消防署の活動の紹介や、万一の火災避難時の注意事項などでした。

☆火災避難時の注意事項☆

○煙は天井近くに行くほど濃度が濃くなるので、なるべく姿勢を低くして避難する。

○煙は有毒ガスを含んでいる可能性があり、多くの場合高温なので、ハンカチなどで口を覆う。

○煙の色は黒い場合が多く視界が利かないので、壁伝いに逃げるとよい。



消防署からの説明



防災用品の説明



参加された皆さん

◇平成 20 年度防災訓練

2008 年 10 月 26 日(日)13:00～、管理センター集会室で防災訓練が開催されました。

・戸塚消防署より、防災に関する説明の詳細です

2008 年パークヒルズ防災訓練

【戸塚消防署の説明内容】

1.横浜市の火災発生状況

横浜市の火災発生件数は年間 1 千件弱(2007 年 948 件)。

火災の原因は、(1)放火(265)、(2)タバコ(134)、(3)食用油過熱(78)、(4)コンロ(電気器具ショート等)(55)、(5)火遊び(47)の順と、放火がトップであることにご留意下さい。(括弧内は 2007 年の件数)

(右の写真は、開催に際して鈴木理事長の挨拶です)



因みに救急車の出動件数は年 130 千件前後と、火災の 100 倍以上もあります。

中には深爪をして救急車を呼ぶ例もあり、困ったことです。

ご家庭で特に気を付けるのは天ぷら油火災の際の対応です。

天ぷら油火災を消火するには消火器の使用がもっとも効果的です。

天ぷら油に水をかけると火に油を注ぐ以上に危険です。

消火器がない場合、シーツやバスタオルを濡らして絞って、火を押し込めるようにして消す方法もあります。

消火器の点検も怠りなく、お願いします。

2.地震の際の初期動作

(1)我が身の安全確保、(2)火の始末、(3)隣り近所の助け合いです。

例えば机の下に隠れる場合、机が動かないよう、手でしっかり脚を握りましょう。

3.三角巾の使い方

三角巾を使って怪我した腕を支えたり、頭を保護する方法を教わりました。

忘れてしまいそうな内容ですが、横浜市の安全衛生局には三角巾の使い方を説明したサイトがなく、ご興味の方は例えば名古屋市消防局のサイト P.15～をご参照下さい。



事前準備



松浦防災担当理事



三角巾 1



三角巾 2



三角巾 3



防災用具販売

◇平成 21 年度防災訓練

2009 年 10 月 25 日(日)13:00～、管理センター集会室で理事会主催の防災訓練が開催されました。

- ・今回は東の街(1-104)の鷹取澄様が阪神淡路大震災の際、ボランティア活動を行なった体験談を話してくれました。

2009 年パークヒルズ防災訓練

2009 年 10 月 25 日(日)13:00～、管理センターにて開催された地震対策講習会の概要（東の街、鷹取様による阪神淡路大震災での教訓）

☆ニューシティ東戸塚(NCH)の状況

以下を勘案、阪神淡路大震災クラスの地震でも多分、大丈夫。

●81 年改正の建築基準法に基づく 85 年以降の建築

壁式構造(ピロティ構造ではない)、帯筋間隔は 10 cm、地下 10m の地盤まで杭打ち、盛り土部分が少ない等、壊れにくい構造。

外壁、窓ガラス等は壊れ、落下する可能性があり、外壁の亀裂も起り得るが、ある程度の構造上の被害があっても修復可能。

●地盤も比較的良い

震度 6 で外壁・窓ガラスが剥落する程度。

☆各自の対応

●高齢者中心に部屋の中での怪我が 4 割以上と多いので要注意

特にタンス・ピアノの転倒、テレビ落下等による怪我が多い。

(対策)

①納戸を作り、タンス等に移す。

②家具の置き方を工夫し、タンス・ピアノの前で寝ないようにする。

③個々の家具に対する安全対策

- ・家具に転倒防止金具を取り付けたり、突っ張り棒を設置する、
- ・家具のガラス部分に飛散防止フィルムを貼る、
- ・テレビ・ピアノの設置箇所(床)にゴム製の固定器具を挟む、
- ・食器棚の扉が勝手に開かないよう、ラッチを取り付ける、
- ・本棚の本の前にゴム・ロープを取り付け、本が飛び出さないようにする等。

内壁も共用部分なので、原則、釘打ちが出来ないが、一般的に業者に頼めば、1 個当たり 3 千円(追加 1 個につき 1 千円)程度で固定化が可能。

天井部分が吊り天井方式の場合、突っ張り棒の上側に板を挟み、面で押さえる等の工夫が必要。

飛散防止フィルムは高価なので、部分的に 4 隅に三角フィルムを貼るだけでも飛散防止効果がある。

●防災用品

大体 3 日分程度の水・食糧備蓄が大切。

水・食糧の備蓄は賞味期限の問題があるので、常日頃、お米等は使い切らずに 1/3 位になったところで小まめに買い足すことが肝要(いざという時の非常食代りになる)。

加えて懐中電灯、ローソク、ラジオ、カセットコンロは役に立つ。

(それ以外の市販の防災用品パックはあまり役に立たない。)

給水車からの運搬用 20?ポリタンク、キャリアカートも有用。

洗い物を出さない為、ラップを沢山用意し、食器をカバーして使うのも効果的。

お風呂の水も直ぐに流さず、トイレ用に溜めておく手もある。

因みにトイレは 5?程度の水で流すことが可能。意外に下水管が壊れる例は少ないので、トイレ用の水を確保することが重要。

☆今後の課題(マンション全体の問題)

●安否確認体制の構築、簡易トイレを共同で保有することが大切(役所は頼りにならない)。

各戸から出る非常用トイレ・ゴミの捨て場所確保も肝要。

マンホール(下水管)直結式の共同簡易トイレは臭いがひどくて使い物にならないことがある。

●食糧と水を管理組合で用意することは無理があり、各戸の自己責任にしてもよい。

阪神淡路大震災の経験では、公共の水道本管からの取水、災害用井戸はあまり役に立たない。

●生ゴミをコンポスト化する装置も有用。

◇ 2011年(平成23年)9月25日の訓練

東日本大震災(2011/3/11)直後の訓練として、L棟北側の500トンの受水槽(緊急遮断弁)からの飲料水確保テスト等を行いました。住民の方々の関心も非常に高まり、200名以上のご参加を頂きました。

【早坂理事長の参加ご案内メッセージ】(抜粋)・・・2011/9/10

今年は東日本大震災が発生し住民の震災に関する意識は高いと思われます。

パークヒルズでは「飲料水用緊急遮断弁」を設置し、500トン(25Mプール2杯分)の飲料水を確保致しました。
(震度5強で作動します)

この飲料水用緊急遮断弁設置は横浜市内のマンションでは初めての試みです。

少しでも多くの住民の方にご参加を賜り、御理解を頂ければ幸いです。

奮ってご参加下さるよう、何卒よろしくお願い致します。

【訓練予定】

- 日時 2011年9月25日(日) 10:00～11:30
- 集合場所 N棟ゲート前(旧小松ストア)給水設備の組立とその取扱い
その後 H棟西側広場へ移動して頂きます。
- 仮設トイレの組立、自家発電機の試運転、簡易担架の取扱(高層棟階段の運搬)等
- 訓練終了後は参加者全員に備蓄品(飲料水、非常食等)の配布を予定しております。

【事前準備】(9/10)



【訓練当日】(9/25)



集合挨拶

簡易水道の蛇口



簡易水道の蛇口



災害用トイレ(一柳元理事長)



備蓄品を配布して解散

【早崎理事長のご挨拶】

本日はパークヒルズ防災訓練にご参加頂きありがとうございます。

震災の2か月前に「パークヒルズ防災マニュアル」を配布させて頂きましたが、マニュアルの下で家具の固定等、早期対策をして頂いた方は家具の転倒を免れたと報告を頂いております。

関東直下型震災はこの25年間に明日来るかもしれない状況です。

災害に対する準備は万全に越したことはありません。

そこで、まず飲料水の確保となり、昨年11月に給水ポンプ室に緊急遮断弁を設置し、飲料水約500トンを確保できることになりました。

本日はこのシステムのご理解と実際の給水作業をご覧頂きます。

その後、H棟前で組立てトイレを見て頂き、備蓄しております飲料水等の配布を行いますのでお集まり下さい。

最後になりますが、いざ何かあれば「何時の時も助け合いの精神」が必要です。困っている時に親切にされた気持ちは大変ありがたいものです。

幸いパークヒルズに住んでおられる住民はジェントルマンが多いと聞いております。

日頃から隣近所、各階の方々と積極的に御挨拶して頂き交流を是非心がけて下さい

私からの提案ですが、本日からパークヒルズ住民の合言葉として、「グッド コミュニケーション」をスローガンとしたいと思います。

「こんにちは!!」、「調子はいかがですか」

むかしの良さを、もう一度復活したいものです。

本日は、ありがとうございました。

平成 23 年度防災訓練報告

1 防災訓練実施

去る 9 月 25 日、予定通り防災訓練を実施しました。

今年の訓練は、かねてより計画されておりました飲料水の確保を目的とした、貯水槽の緊急時遮断弁の工事完了により、この貯水槽より水道水を取り出す実験を含め、常備されている仮設トイレ等各種防災器具を知っていただくことと致しました。

今年は、東日本大震災のせいか、思いのほか皆さんの関心が高かったようで、なんと 2 百数十人（あまりに多くて数え切れませんでした）の方々が参加して下さいました。

参加者が多く、十分な説明が行き届きませんでした。普段見ることのない立派なポンプ室を覗き見るなど、防災以外での勉強もできたのではないかと思います。

2 防災訓練からの注意事項

本年 2 月に配布された「パークヒルズ防災マニュアル」にありますように、基本的には防災対策は各戸において行うということです。

訓練で見られたように、当管理組合が準備しているといっても、十分なものではありません。

例えば、飲料水は確保できたとしても、それを各人の家まで運ぶことは個人個人です。20L 入りのポリ容器を手で持って高層階まで運ぶことは、おそらく相当な苦勞でしょう。運搬方法を工夫するとともに、取りあえずは最小限のペットボトルを家に備蓄することをお勧めします。

3 非常食の備蓄は行いません

これまで当パークヒルズでは、非常時のためにわずかながら非常食の備蓄を行ってまいりました。ところが、満足な数を揃えることは不可能であること、期限が来れば処分する必要があり経済的でないことから、これらは各人が準備することと致しました。

今回、訓練参加者にその一部を配布いたしましたが、今後とも備蓄非常食、飲料水は処分し廃止する方針です。ご承知おきください。

以上

◇ 2012 年(平成 24 年)9 月 30 日の訓練

10 時～、円形広場にて以下内容の訓練を行いました。

100 人以上の方が集まり、2 班に分かれ、下記①の訓練をメインに行いました。

《内 容》

①戸塚消防署東戸塚派出所のご指導による下記訓練

- ・消火器の使用
- ・人工呼吸、AEDの使用

②非常時給水訓練

③防災用トイレ組み立て

④防災備品展示および一部配布

【集合】



【消火器訓練】



【心肺蘇生の為の AED 使用、人工呼吸、心臓マッサージ】

心臓停止の方に対し、AED が到着するまで(或いは AED 使用後、正常な呼吸を始めるまで)、心臓マッサージ＝胸骨圧迫を行います。

胸が 4-5cm 程度凹むまで、両手でかなり強く、1 分間に 100 回程度のスピードで圧迫します。

口を付けることに抵抗がある場合は、人工呼吸を避け、胸骨圧迫だけでも効果があるそうです。

AED のテストは 2007 年 10 月来、2 度めです。



【非常時給水】

昨年同様、N棟横の巨大給水タンクから緊急遮断弁を使った取水テストです。

